

放射線医学研究に関する情報公開および

研究協力へのお願い

当院では、放射線を使用した画像診断において患者様の被ばく低減、及び医用画像の改善を目的とした研究として、**Percutaneous coronary intervention** におけるステント強調処理の患者被ばく低減に関する研究を予定しております。

本研究では、すでに撮影された患者様の画像データを使用しますので、患者様の負担はなく、今後の治療方針にも影響しません。また、使用する画像データは匿名化を行いますので、個人が特定されない形式で研究に用いられます。

なお、この研究は、埼玉県済生会川口総合病院倫理委員会の審査を受け、病院長の承認を得て実施しています。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

対象者は、2016年以降に経皮的冠動脈形成術でステント強調処理を使用した症例（900症例）です。本研究の目的は、対象期間に実施された画像データを使用し、ステント強調処理の処理精度を後ろ向きに評価し、ステント強調処理の撮影線量の低減が可能であるか検証を行うことです。

② 研究に利用する試料・情報の項目

DICOM形式の経皮的冠動脈形成術の画像を使用します。主な評価項目は、性別、年齢、身長、体重、撮影角度、放射線被ばく線量、冠動脈疾患の治療歴です。これら以外の情報は、画像出力時に匿名化され個人が特定されない形式で評価が行われます。

③ 研究実施期間

埼玉県済生会川口総合病院 診療技術部 放射線技術科

④ 提供する試料・情報の取得の方法

すでに検査を終えている対象者の画像を、画像保存通信システム(Picture archiving and communication systems: PACS)より匿名化し、出力します。

⑤ 研究期間

研究期間は、承認日から2027年3月31日を予定しております。

⑥ 研究対象者への配慮

本研究で使用される画像データは、患者様が特定されない形式に変換され、評価終了時に速やかにデータの削除が行われます。また、研究で得られた結果は国内外の学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などが公表されることは一切ありません。本研究へのデータ提供を望まない場合は、研究責任者までご連絡ください。データの提供を拒否することで患者様への不利益が生じることは一切ありません。

問い合わせ先：埼玉県済生会川口総合病院

診療技術部 放射線技術科

電話番号：048-253-1551（代表）

研究責任者：森 一也